



東日本大震災発生後、多くの九州大学・土木系教員も現地での調査を行い、そこで得た知見を活かして防災・減災への取り組みを行っています。本フォーラムは、九州大学・土木系教員の取り組みを紹介するとともに、地震災害についての市民の皆様方の疑問や不安に思っておられることなどについて答え、一緒に考えていくフォーラムです。

フォーラム開始前に質問用紙を配布しますので、参加者は普段から思っている疑問などを書くことができます。

**日時** 2012年3月11日(日) 13:30~17:00

(当日は12:30より開場いたします)

**場所** 九州大学西新プラザ・大会議室

**参加費無料**

(事前申込みの必要はありません)

PROGRAM

13:30 - 13:35	<b>主旨説明</b>	建設デザイン部門長 濱田秀則
13:35 - 14:20	<b>2011年東日本大震災の特徴と教訓</b>	大塚久哲
14:30 - 15:45	<b>調査報告(前半の部)</b>	
	・観測地震動と構造物の設計で用いられる想定地震動との比較	梶田幸秀
	・内陸部で発生したアースダムの崩壊による段波津波の脅威	押川英夫
	・複合災害～教訓、課題および今後の対策～	ハザリカ・ヘマンタ
	・港湾の地震・津波被害と今後の対策	春日井康夫
	・液状化危険度判定の現状	笠間清伸
	・災害廃棄物処理の現状	島岡隆行
15:55 - 16:30	<b>調査報告(後半の部)</b>	
	・津波被害シミュレーションの現状	浅井光輝
	・巨大地震による連鎖土砂災害の脅威と予測	陳光斉
	・津波災害で再認識された海岸地形と環境の保全	清野聡子
16:30 - 17:00	<b>フォーラム参加者とのQ&amp;A</b>	コーディネーター:大塚久哲



**主催** 九州大学大学院 工学研究院 建設デザイン部門・環境都市部門  
九州大学西部地区災害資料センター

**後援** (社)土木学会西部支部 (社)九州橋梁・構造工学研究会 壬子会  
(社)日本コンクリート工学会九州支部 (社)地盤工学会九州支部  
※本フォーラムは土木学会認定CPDプログラム(3.3単位)です。

**会場へのアクセス**

九州大学西新プラザ  
地下鉄「西新」駅下車  
⑦番出口より徒歩約10分

**問い合わせ先**

九州大学大学院 建設振動工学研究室  
電話:092-802-3375  
(担当:山崎)

九州大学・土木系教員からの調査報告と九州地方の地震防災について  
**東日本大震災から1年が経過して**

